第63号

http://syozen.com

https://www.facebook.com/syozenji

発行日 平成 27年4月25日

石室山松禪寺

住職 髙橋 乾峰

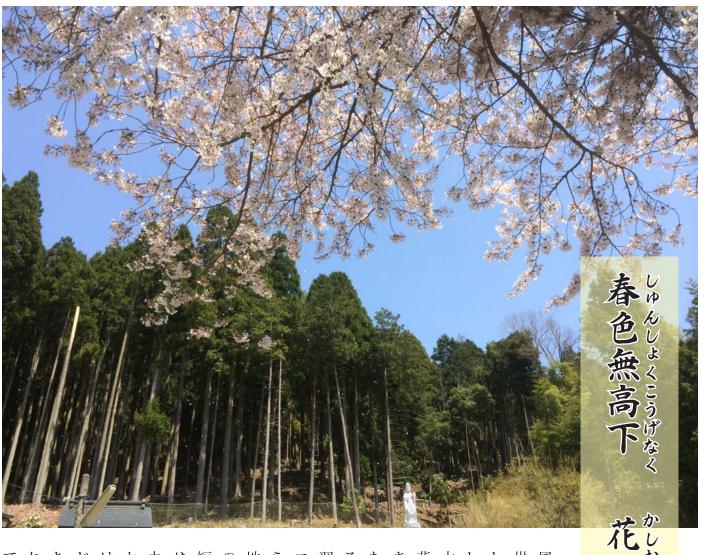
〒 668-0363

兵庫県豊岡市但東町栗尾 469

電話 0796-55-0034

FAX 0796-55-0066

Mail kenpou@syozen.com



で精一杯に生きている。

短い枝、高い木、低いの花を咲かす草木、 じ地球上の同居人であり、はさまざまである。でも、 からおチビさんまで、生き方丸い顔、とがった顔、ノッポ 地球上の生き物。色とりどり 木の芽。大木のてっぺんからした大地に顔を出し始める草 や動物に踏まれて生きる草、 習を始めた。お日様と大地の もれなく私たちを照らして き物から人間まで、 背の低い草木まで、 風 エネルギーをいただきなが ただいた命はただひとつ、 が降り注ぎ始める。 0) 鶯がさっそく鳴き声 すくすくと成長していく 匂 いが変わった。 柔らかな陽射 低い木、 小さな生 長い お日様は **衼** 1

゙゚おかげさま」

いただき何かしら心温まるものを感じて

肌寒い一日でしたが、法話を拝聴して

いただいたと思います。

法話の会で布教師さんの法話を拝聴しました テーマ「おかげさま」 ~社会の恩~生かされ 支えられ

2時より本堂で開教、 〔妙心寺派定期巡教〕を3月18日(水)、 妙心寺派布教師さんを迎えての彼岸法話会 平日でしたが約20人の 午後

参加がありました。今回法話をしていただい

恩~生かされ支えられ、と題して約9分にわ たり説いていただきました。 ご住職)で、テーマ『おかげさま』 た布教師さんは、大分市の竺泰道師 昨年は「父母 〜社会の

は「報恩謝徳」の願いによって妙心寺をかげさま」によるものです。花園法皇様 ます。今ある自分が人として生まれ、成 この四恩に報いて生きることを説いてい ますが、仏教では自分を生かしてくれて た心であり、それを、しっかり心にとど ることでもあります。恩とは原因となっ ければなりませんが、 花園法皇様の願いに報いる生き方をした る妙心寺の縁をいただいたのですから 建立されました。私たちは、ご本山であ 国土、三宝(仏宝僧)」の四つの恩と捉え 長し育てられたのも、この四つの恩の「お いる様々な支えを「父母、社会(衆生) それは四恩に報

め置くことを忘れてはなりません。 の恩」、今年は「社会の恩」と続いて

今年も夜桜を いただきました

映える美しい桜を愛でてい からは毎年恒例となった桜 桜も昨年とほぼ同じ時期に を咲かせています。 春の声を聴きながらも、 花をつけました。 た。それでも春は確実に花 のライトアップを始めまし つまでも寒い日が続きまし 約2週間ほど、夜空に 4 月 4 日 境内の



法要後は、

お 斎ヒォ

ました。

約30人の

お参りがありまし

時より本堂におい

て彼岸法要を営み

3月21日

午 前 11

その中日となる

えした御膳と同じ 並べ、仏様にお供

理が詰められた

お弁当が配膳され

ずっと続いている

職の初期から

行事です。

法要を

終えた本堂に机を

法要後のお斎は地域伝統の味

仏さまにお供えした食事を参拝者みんなで一緒に楽しくいただきました

命が育まれる春、 があたたかく感じられるこの頃、 いたご先祖様へ感謝の念を捧げる彼岸です。 にはならず平穏な冬を乗り越え、 今年も彼岸の季節が巡ってきました。 そして、 尊い生命をいただ あらゆる生 お日様の光

謝する誓いのことばです。みんなで手を合わ せて楽しく食べる、まさに命のありがたさを ます。「食事五観文」 とへの感謝と、これからいただく食事にも感 いただきます。さまざまな命をいただいたこ をみんなで唱えてから

実感していただくお斎で

ない修行の一面を鑑賞しま 追った記録映画で、 僧堂の四季」を鑑賞しまし は はなかなか見ることができ お斎を終えると、 「NHK禅の世界 臨済宗修行僧の一年を 一般に 今度 正眼

となりました。 決算の報告のみで無事終了 会でした。 を行い、終わって護持会総 て同様に彼岸法要(観音講 夜には、 事業並びに会計 兼務寺院にお



女性の手作りで です。お斎は檀家

これは、

▲当番さん手作りのお斎を、 で楽し した=3月21



▲お斎の後は、ビデオ鑑賞です。



お弁当の器に盛られた煮しめ、 おはぎ、胡麻豆腐など。 いずれも当番さんの手作りによるお斎です。

松禪寺報

5月5日はお釈迦さまの生誕を祝う「花まつり」を行います 誕生仏に甘茶をそそぎ 甘茶をいただく仏教行事です

仏教会もこの日に花まつりを行っています。 もの日に実施しています。 です。その期日は4月8日と定められていま の仏教寺院などで行われる大切な法要の一つ 祝って花御堂を飾り、 した誕生仏を祀り、 事を「花まつり」といいます。 松禪寺では日中、 仏教の開祖であるお釈迦さまの誕生を祝う や灌仏会ともいいます。 松禪寺では先住の代から5月5日子ど 甘茶をそそぎます。 本堂前に花御堂をお祀り 右手を上に左手を下に また、 この日は誕生を 出石・ 他に降誕 但東

> すので、ぜひお越しください。午前9時過ぎ ださい。飲んでいただく甘茶も用意していま 石町の勝林寺様(浄土真宗)を会場に法要な から午後5時頃までお参りいただけます。 していますので、どうぞご自由にお参りくだ 出石・但東仏教会主催の花まつりでは、 お釈迦さまに甘茶をそそいでお参りく 出

どを行い、 を白い象を引いて宗鏡寺様 います。象を引くのは、 んであるマーヤ その後に子どもたちが出石の街中 (摩耶) お釈迦さまのお母さ 夫人が、白い象が胎 (臨済宗) に向か

内に入る夢をみてお

といい、 まがルンビニーの園 釈迦さまを身ごもっ 洗ったともいわれて をそそぎ、 がお釈迦さまに香水 の雨が降りそそいだ その時、 でお生まれになった そぐのは、 基づいています。 たという言い伝えに 誕生仏に甘茶をそ また、 天から甘露 お釈迦さ 身体 竜王



そぎます。 います。これにちなんで、 誕生仏に甘茶をそ

な仏教行事に、ぜひお参りください 仏教を開いたお釈迦さまの生誕を祝う大切

5月31日=境内掃除にご協力ください

り、 者の参加をお願いします。 原、久畑のそれぞれの評議員と約1名の協 すので、清滝、 5 月 31 日 境内及びその周辺の草刈りなどを行 (日) 午前8時から約2時間あま 本城、 柴地、 大貝、 佐田、 いま

10月18日は妙心寺へお参りしましょう

閑臥庵というお寺でいただきます。 ますが、 す。 をしたりします。「歩くのはイヤ」という方 団参でも昼食をいただきましたが、 があります。お昼は午後1時過ぎと遅くなり 本山の見学後、 までゆっくりしていただけます。 には、飲食できるお店もありますので、 京都の食材が一同に集結する錦市場で買い物 でした。その後は、「京の台所」と呼ばれ、 今年は大本山妙心寺への団体参拝を行 期日は、 黄檗宗の精進料理である普茶料理をおうばくしゅうしょうじんりょうり 10 月 18 日 午前11時から微妙に で日帰りです。 一般にて法要 10年前の 大変好評

集チラシは後日配布いたします。 妙心寺集合でご参加いただけます。 本山へお参りください。 隔年実施の団参ですので、 京阪神の檀家さんも ぜひ、